

～農業の未来は Yes we can!～
井上 翔一郎さん（大洲市）

農事組合法人たいよう農園 専務取締役 1989 年生まれ
[たいよう農園ホームページ](#)



☆たいよう農園の概要☆

加工用キャベツ（150ha）、たまねぎ（50ha）の栽培とともに、各種カット野菜の製造、全国取引先への直接販売等、生産から加工、流通、販売まで、全てを自社で一円管理することにより6次産業化のビジネスモデルを追求しています。

現在の社員数は約 80 人で、「**国を耕す会社です!**」というコーポレートメッセージの下、10代～20代のエネルギー溢れる若い社員が信念を共有して邁進しています。

☆ここがポイント☆

■発展のキーワードは「選択と集中」

加工用として大量生産可能な品目に絞り、生産効率を上げるため最新鋭の大型機械の導入や、巨大冷蔵施設、加工処理施設の設置等に集中的でダイナミックな投資を行うとともに、全量事前契約の導入、他産地への生産委託等を進め、相場や天候のリスク低減に徹底して取り組んできました。

その結果、国内で群を抜いた経営規模と定時・定量出荷による安定供給を実現し、大手食品加工会社等への直接販売をメインに業績を拡大しています。

■会社の成長と共に自分自身も成長を

大学で経営学を学び、会社経営に携わりたいと思っていたところ、ちょうど同郷の本田氏が当社の代表に就任し業務拡大に乗り出す時期だったこともあり、「うちに来ないか」と誘っていただき、2011年に大学卒業と同時に入社しました。

入社当時は社員が4人、経営規模も7ha程度でしたが、そこから代表のリーダーシップの下、現在まで急速な成長を続けてきました。自分自身は、入社するまで農業とは無縁で、初めて畑に出た時は何から手を付ければ良いのかも分からない状態でしたが、成長期真っ只中の会社に身を置き、会社の成長に負けないように懸命に仕事に取り組みました。この様々な経験が自らを成長させてくれていると思います。

2016年10月に専務に任命され、現在は、生産、加工をはじめ各部門の連携が円滑に進むよう調整・改善役を務めています。

（目的）
農業の未来を創る事です。

（理念）
国家の期待を遙かに超える事です。

（行動）
メガファームを創る事です。

（質問）
それは世界に通用しますか。

（信条）
国を耕す会社です。

たいよう農園の社訓

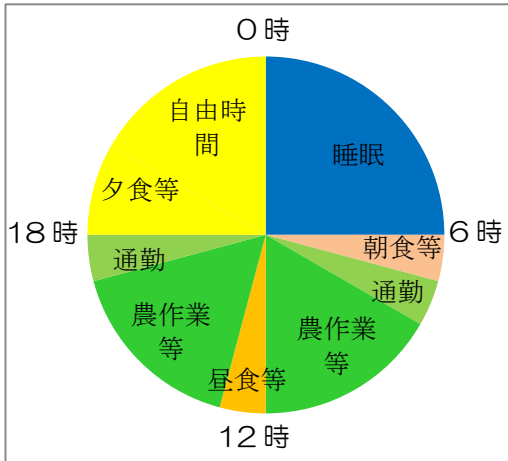


たまねぎ定植の様子



大型トラクターと国内最大級のたまねぎ収穫機（右手奥）等

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

会社なので勤務時間は基本的に8時から17時で、毎週日曜日は定休日ですが、天候や取引先の都合等もあって、不規則な休日になることもありますし、残業の日もあります。それでも仕事充実しているので特に苦にはなりません。

プライベートでは、2016年に結婚したばかりなので、忙しい中でも、時間を見つけて、妻と一緒に買い物や食事に出かけるのを楽しみにしています。



キャベツ収穫と直後に行う次作のほ場準備

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
基本的には日曜日が休日ですが、作業の進捗度と天候の兼ね合いや取引先への対応のため、日曜日以外に休日を振り替えることもあります。						
←—————→						↔



ラッピングが施された自社トラック



たまねぎ加工施設



冷蔵庫へ在庫するキャベツ



巨大なたまねぎ冷蔵施設

☆これからの夢や目指すもの☆

会社で何かを判断する際には、「それは日本一か。世界に通用するか。」を意識するようにしています。また、「農産物をどう扱うか」を念頭に引き続き現場主義を徹底し事業展開を図っていきます。

自分自身は、これまで会社の成長スピードに着いていくのが精一杯な部分もありましたが、これからは農業の未来に繋がる新しい事業等を展開していくために様々なことにチャレンジしたいと考えています。

また、当社のビジネスモデルと“たいようスピリット”を広げていくために、当社で学んだ若い人達が経営者として独立し、当社と連携しながら日本一の機械を使ってダイナミックな農業に取り組める体制を構築したいと考えています。

☆メッセージ☆

会社には社会的価値と経済的価値との2つの価値がありますが、農業には食料安全保障や先祖代々の農地の維持などの大義があり、社会的価値が大きい産業です。天候や価格など思うようにならないこともありますが、自分のためにただ作物を作っているのではなく、社会、国のために有益な事業活動を行っているということ意識し志を高く持てば、楽しく農業に取り組むことができます。一緒に農業の未来を創りましょう！